

平成28年度 岐阜県疾病・異常被患状況

疾病・異常の被患率等別にみると、幼稚園、小学校においては「むし歯（う歯）」が最も高く、次いで「裸眼視力1.0未満の者」の順となっている。中学校、高等学校においては「裸眼視力1.0未満の者」が最も高く、次いで「むし歯（う歯）」の順となっている。

※ 太字は、全国と比較して高い疾病・異常

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
90%以上					
80%以上～90%未満					
70%以上～80%未満					
60%以上～70%未満				裸眼視力1.0未満の者	
50%以上～60%未満					
40%以上～50%未満	むし歯（う歯）	むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）	
30%以上～40%未満					
20%以上～30%未満	裸眼視力1.0未満の者	裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）		
10%以上～20%未満		鼻・副鼻腔疾患		鼻・副鼻腔疾患	
1%以上～10%未満	8%以上～10%未満		鼻・副鼻腔疾患		
	6%以上～8%未満	歯列・咬合	食物アレルギー		
	4%以上～6%未満	口腔咽喉頭疾患・異常 耳疾患 鼻・副鼻腔疾患 眼の疾病・異常 言語障害 食物アレルギー	食物アレルギー 眼の疾病・異常 歯列・咬合	歯肉の状態 歯列・咬合 眼の疾病・異常 歯垢の状態	歯肉の状態 食物アレルギー 歯垢の状態
	2%以上～4%未満	アトピー性皮膚炎 歯・口腔のその他の疾病・異常	耳疾患 アトピー性皮膚炎 歯垢の状態 その他の疾病・異常 ぜん息 心電図異常 歯肉の状態	せき柱・胸郭・四肢の状態 アトピー性皮膚炎 心電図異常 蛋白検出の者 耳疾患 ぜん息 その他の疾病・異常	眼の疾病・異常 歯列・咬合 心電図異常 蛋白検出の者 アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患 せき柱・胸郭・四肢の状態
	1%以上～2%未満	その他の疾病・異常 ぜん息 その他の皮膚疾患 歯垢の状態	口腔咽喉頭疾患・異常 せき柱・胸郭・四肢の状態 心臓の疾病・異常	心臓の疾病・異常	心臓の疾病・異常 ぜん息 耳疾患 歯・口腔のその他の疾病・異常
0.1%以上～1%未満	0.5%以上～1%未満	歯肉の状態	歯・口腔のその他の疾病・異常 言語障害 蛋白検出の者 その他の皮膚疾患	口腔咽喉頭疾患・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常	顎関節
	0.1%以上～0.5%未満	心臓の疾病・異常 せき柱・胸郭・四肢の状態 腎臓疾患	難聴 顎関節 腎臓疾患	難聴 顎関節 言語障害 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 腎臓疾患	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 腎臓疾患 尿糖検出の者 その他の皮膚疾患
	0.1%未満	尿糖検出の者 顎関節 蛋白検出の者	尿糖検出の者 結核	結核	結核 言語障害

(注)

1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者等である。
3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
5. 寄生虫卵の有無の検査は、平成28年度より必須項目から削除された。また、「四肢の状態」が平成28年度から健康診断の必須項目に加わったため、「脊柱・胸郭・四肢の状態」とする。